

# 週間漁海況情報—第35号

平成23年8月29日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

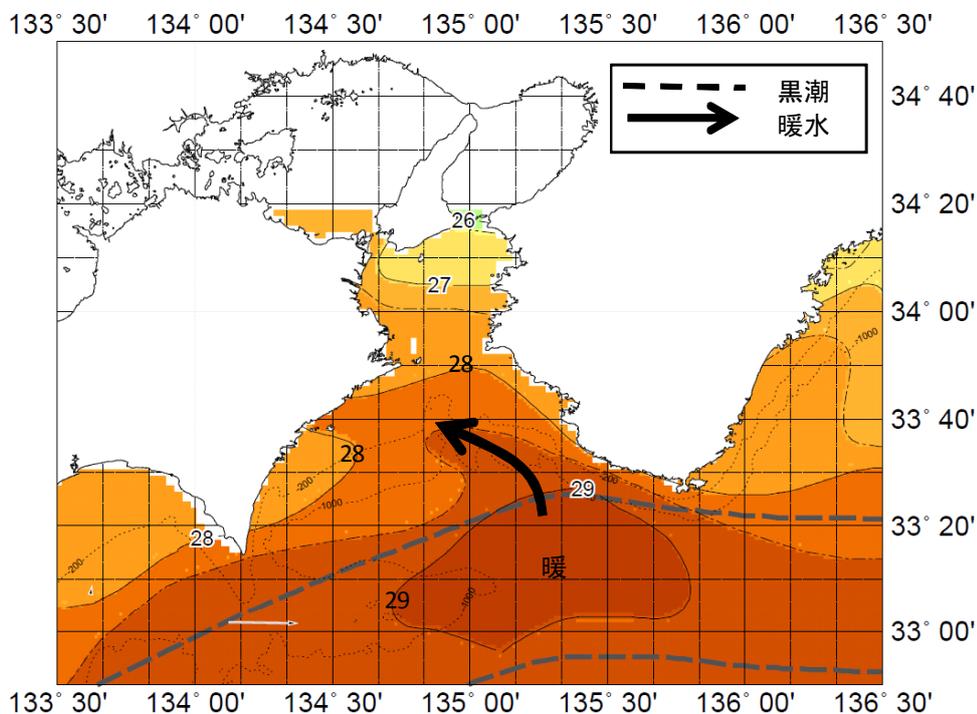
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.8.29)を示した。

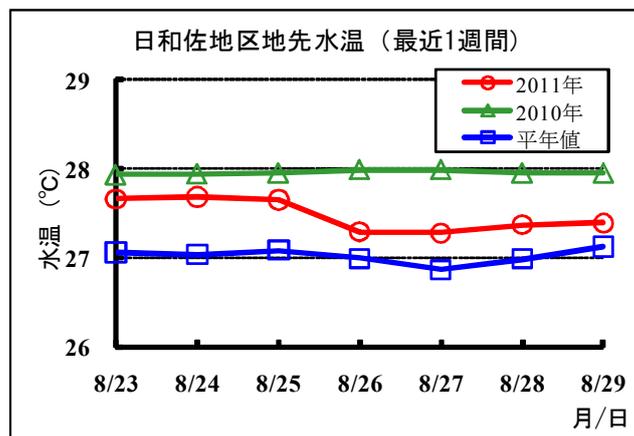
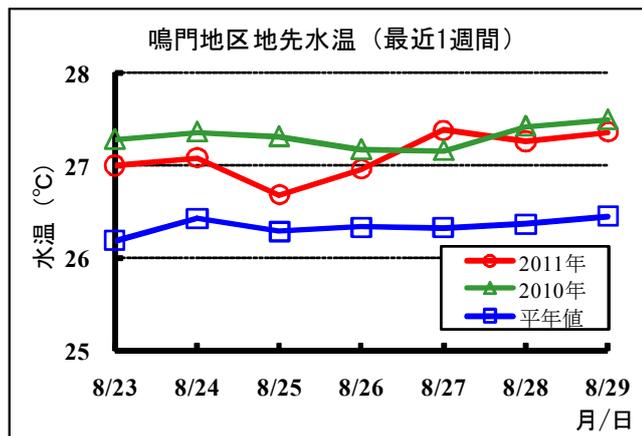
黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、28～29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26～27℃台、紀伊水道で25～27℃台、海部沿岸で27～28℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県側から黒潮系の暖水が反時計回りに流入しており、先端が美波町から牟岐町周辺の海域に達している。また、和歌山県寄りの紀伊水道では、友ヶ島水道を通じて大阪湾の内海系水が侵入しており、比較的低温な26℃台の水域がみられる。



**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の26.7～27.4℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の27.3～27.7℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の27.4～28.1℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.8トン（1日1隻当たり31kg）、小小主体にカマス類が0.3トン（同8kg）、小主体にマアジが1.4トン（同45kg）、マイワシが1.1トン（同227kg）、ゴマサバが4.7トン（同115kg）、マルソウダが2.0トン（同34kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸でイサキが0.2トン（同3kg）、特大・大主体にタチウオが0.2トン（同8kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが31.0トン（同500kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 8月22日～8月28日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	25	785	31	
		カマス類	33	251	8	小小主体
		マアジ	32	1,447	45	小主体
		マイワシ	5	1,136	227	
		ゴマサバ	41	4,713	115	
		マルソウダ	60	2,022	34	
釣り		イサキ	63	200	3	
		タチウオ	26	200	8	特大・大主体
パッチ網		シラス	62	31,000	500	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の27℃台、日和佐地先は「やや高め」の28℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年8月23～29日の海部沿岸では、延縄でアカムツが0.5トン、小型定置網でアオリイカが1.8トン、小小主体にカマス類が1.6トン、キビナゴが1.5トン、小主体にマサバが1.5トン水揚げされていた。紀伊水道では、釣りでサワラが0.3トン、パッチ網でシラスが13.6トン水揚げされていた。

他県情報：和歌山県（8月19日～8月25日）のパッチ網でシラス123.8トン（1日1隻・統当たり884kg）、定置網でマアジ1.4トン（同233kg）、釣りでスルメイカ4.2トン（同25kg）、イサキ1.6トン（同9kg）が水揚げされた。